

マーケットの動き（2025年8月25日～8月29日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。月末の持ち高調整や堅調な国債入札の結果を好感し債券は買われました。その後、28日発表の米経済指標が堅調な結果となったことなどから、債券は売りが優勢となり、米国長期金利は低下幅を縮めて週を終えました。欧州国債市場は、英国金利が上昇した一方、ドイツ金利は低下しました。

投資環境見通し（2025年8月）

長期金利は、米国、欧州（ドイツ）ともに徐々に水準を切り下げる

米国：関税政策に伴うインフレ警戒感からFRB（米国連邦準備制度理事会）は早期の利下げに対して慎重姿勢を続けるとみられますが、金利の高止まりから景気は減速するとの見方もあり、長期金利は徐々に水準を切り下げるとみています。

欧州：財政拡大政策や国債の需給悪化懸念は金利上昇要因とみられます。一方、米国とEUの関税交渉で合意に達したものの外需は減速するとみられることに加え、通貨高に伴うインフレ抑制効果もあり、ドイツ長期金利は緩やかに低下するとみています。

	8月29日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	4.22	▲0.03	▲0.10	0.03	0.36
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	615.14	0.07%	▲0.18%	2.85%	4.83%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202508_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移

（期間：2024年7月31日～2025年8月29日）



FTSE世界国債インデックスの推移

（期間：2024年7月31日～2025年8月29日）



※2024年7月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成